

目 次

第一章 総論(岩下 明裕)	1
第二章 プーチンの対中央アジア政策:イラク戦争の影響(小泉 直美)	3
問題設定	3
1. 脅威認識の変化:「新しい脅威」の定着	3
2. 対中央アジア政策	7
結論	11
第三章 キルギスタン・タジキスタンの対外関係(岩下 明裕)	17
序—「小国」を議論する意味	17
1. キルギスタンの「動揺」	18
2. タジキスタンの「前進」	22
おわりに—ロシア外交へのインプリケーション	24
第四章 カザフスタン、ウズベキスタンの対外政策 ——9.11事件後のロシア、米国との関係を中心に——(湯浅 剛)	31
1. 「ロシア／米国離れ」が意味するものは何か?	31
2. 中央アジア国際関係のリアリズム的理解	32
3. 独立後の対外政策の特徴の推移	33
4. 9.11事件からイラク戦争へ	36
5. 結語	40
第五章 中央アジアにおけるイスラム勢力の台頭と米国(宮田 律)	47
1. 中央アジアにおける「反米主義」	47
2. キルギスタンのイスラム復興	48
3. ウズベキスタンの米国離れとイスラム勢力の台頭	50
4. 中央アジア諸国の安定化への見通し	53

第六章　ロシア・トルクメニスタン関係(笠井 達彦).....	57
はじめに.....	57
1. トルクメニスタン外交の原則.....	57
2. ロシア・トルクメニスタン関係.....	59
3. 9.11事件及びイラク戦争とトルクメニスタン・ロシア関係.....	66
4. カスピ海底分割問題.....	66
5. おわりに.....	67
参考資料　トルクメニスタン概要.....	71
展望と提言.....	73